

3 持続可能な中山間地域の形成に向けて

中山間地域は、私たちの生活に欠かせない重要な役割を担っていますが、そのコミュニティは存続の危機にあり、この問題に県全体で取り組むことが重要と考えます。

- 1 住民主体の地域づくりや、地域づくりサポート人材の育成に取り組みます
 - 2 里山林整備や農村環境保全など、安全で環境にやさしい地域形成に取り組みます
 - 3 U/Iターナーや関係人口など、新たな人の流れの創出に取り組みます
 - 4 高付加価値化やコミュニティビジネス立上げなど、地域特性を生かした産業づくりに取り組みます
 - 5 中山間地域の農業・林業や鳥獣被害対策に未来技術等を導入し、産業の振興と安心な生活の確保に取り組みます
- 以上のような取り組みを推進するために、県議会では「富山県中山間地域における持続可能な地域社会の形成に関する条例」を制定しました。今後一層取り組みを強化してまいります。



4 公共交通のあるべき姿を目指して

多くの人々が車に頼っている本県では、道路インフラ整備が格段に進んできましたが、人口減少時代を迎え、これまで整備された道路、橋梁等の更新や老朽化対策が大きな課題となっています。

また、人口減少に伴い交通事業者の経営環境は厳しさを増しています。一方で、高齢者の移動手段確保が社会問題となり、持続可能な公共交通システムの構築が求められています。

- 1 公共交通の利便性向上に向けた議論の加速に取り組みます
- 2 路線維持に向け、官民一体で公共交通システム見直しに取り組みます
- 3 高山本線について、地域住民のマイレール意識の醸成や他路線への乗継利便性の向上に取り組みます
- 4 国、県、市町村、交通事業者、そして地域住民等の関係者の連携を強化し、地域の移動サービスの維持・確保に取り組みます

5 持続的な農林水産業を目指して

農林水産業を取り巻く厳しい状況を克服していくためには、直接的な担い手確保対策はもとより、DX・働き方改革によって魅力ある産業への転換を図らねばなりません。

- 1 新規就農者の受入体制整備、青年農業者の育成とともに、経営資産を担い手に引く継ぐ経営継承に取り組みます
- 2 スマート農業技術の実証・普及や、若手・女性農業者や新規就農者への指導に取り組みます
- 3 森林・林業・林産業の活性化に向け、県議会で策定した「富山県県産材利用促進条例」に基づき、「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業を推進するとともに、高性能林業機械の導入やスマート林業の普及、担い手の確保に取り組みます
- 4 漁業資源が変動する中、「育てる漁業」の確立は重要課題です。こうした中、去る10月、氷見市に「栽培漁業センター」が竣工しました。内水面漁業においても、稚魚の放流を通じて資源の増大を図るとともに、河川環境の改善に取り組みます

6 持続可能な地域社会を目指して

2020年、国において、2050年にカーボンニュートラル・脱炭素社会の実現を目指す方針が示されました。

その柱となるのが【地域循環共生圏構想】です。これは、「自立分散」「相互連携」「環境・共生」による持続可能な地域社会の形成を目指すものです。その基本的な考え方を踏まえて

- 1 人に優しく魅力ある「交通・移動」システムの構築に取り組みます
- 2 健康で自然と繋がりを感じる「ライフスタイル」の構築に取り組みます
- 3 多様な「ビジネス」の創出に取り組みます
- 4 自律分散型の「エネルギー」システムの構築に取り組みます
- 5 「災害」に強いまちづくりに取り組みます

いずれも重要な取り組みと認識しており、積極的に推進してまいります。